

職員の技術力向上 『一日“調査”係長』を実施しました

H27. 7. 30

琵琶湖河川事務所

琵琶湖河川事務所では職員の技術力向上のため「一日〇〇係長」の取組みを行っています。この度、第1回として『一日“調査”係長』を実施しました。京都国道事務所、琵琶湖河川事務所から若手職員が参加し、水文観測について学びました。

- 日 時：平成27年7月30日（木）
13:00～16:00
- 参加者：職員 8名
- テーマ：「一日“調査”係長～水文観測・防災について～」
- 概要：水文観測の概要について
低水流量観測所、高水流量観測所の見学・実習
防災に関する情報収集・提供について



山口事務所長のあいさつ

実施状況



水文観測の目的や方法について学びました



高水流量観測方法を見学しました



低水流量観測を見学しました（大戸川 黒津観測所）



流速計の説明を受けました



熱心に質問も行いました

受講者の感想

- ずっと興味を持っていた河川の仕事、今回は流量観測について学ばせて頂きました。当日は流量観測の方法等の概要を説明して頂いた後、実際に川へ行き流量観測をしている現場の見学をさせて頂きました。水深が浅かったため、実際に行っていたのは低水流量観測でしたが、高水流量観測の方法も見させて頂き良い勉強になりました。「流量観測」について学ぶことはできましたが、実際に自分で流速や水深を計測し、流量観測を行いたかったと感じました。
- 道路にしかまだ携わったことがないので、河川事務所での一日調査係長では貴重な体験をさせていただきました。HP上で地図をもとに自分の住んでいるところやその周辺がどのくらい浸水するかの情報を配信し、水害での死者をださないように工夫していることを知り人々の安全を第一に考えているんだなと感じました。また、大戸川で実際に胴長を着用し流量観測をしてみても流量観測に必要な流速計について理解することができました。川に入ると水圧で胴長が足にぴったりくっついてくるのには驚きました。これから先河川に配属されたら、今回の一日調査係長での経験を生かしていきたいと思えます。
- 実際に水位観測、流量観測見学を行っている所を見学させていただきました。低水流量観測、高水流量観測をどのように行っているかを実際にみることで、より詳しく知ることができて良い勉強になりました。浮子の投下は浮子投下施設でリモコン操作で行いました。この方法は橋が無くても行う事ができ、また安全でもあるのでとても便利だと感じました。この1日調査係長での経験で知識を身につけることが出来ました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0836

